事業所自己評価シート

令和　4　年度

職員による自己評価

Ａ環境面

・職員配置は充実している。

・訓練室は人数に対し少し狭く感じる。

・エレベーター、スロープ、福祉車両がある。手すりがあるとさらに良い。

Ｂ児童への支援内容

・児発管による定期的な面談、モニタリング、支援計画の作成が行われている。

・児発管を主軸とし、全員で意見、立案をして活動プログラムが固定化しないよう工夫している。

・朝礼、昼礼、終礼、連絡ノートを用いて利用者様の日々の様子や変化等を情報共有できている。

Ｃ関係機関との連携

・連絡帳や送迎時に保護者とコミュニケーションが取れている。

・学校とは送迎時や保護者を通じて出来る限り連携を取っている。

・その他関連機関との連携はあまりない。

Ｄ保護者への説明責任・信頼関係

・運営規定や支援内容等については契約時説明し、改定の際にも周知している。

・活動予定表やHPを通じて情報発信を行っている。

・苦情に関しては、気になる事があった際にはご連絡いただくよう周知し、速やかに対応、解決に向けて努力している。

Ｅ非常対応

・年二回の避難訓練を全ての児童を対象に行っている。

・内部、外部の虐待研修を実施している。

・何かあった際には都度ヒヤリハット、事故報告書を作成しミーティングで共有して再発防止に努めている。

保護者による評価

Ａ環境面

・クールダウンできる空間があるとより良い。

・エレベーターがありトイレも広く段差も無いよう工夫されている。

Ｂ児童への支援内容

・保護者の考えや希望をよく聞き、子どもの生活に直結する内容の支援計画を作成してくれている。

・多種多様な療育やイベントをしてもらっており、共有もされている。

・個別のプログラムはいつも工夫してもらっている。

・休日対応の際、他の放デイと比べると少し工夫が少ない。

Ｃ事業所からの情報発信

・プログラムの内容や目的、目標を日頃から共有してくれている。

・面談にしっかり時間を用意してくれてかなり深い内容で助言がもらえている。

・日々良かった事やアクシデント等も連絡帳や送迎時に口頭での共有があり信頼出来る。

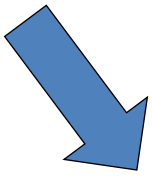
・HP にて日々の様子や活動の風景を見ることが出来安心できる。

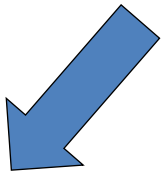
・必要な内容の出来事は常にオープンに正直に伝えてくれている為、苦情に発展する事がない。

Ｄ非常対応

・定期的に避難訓練が行われているよう。

・訓練の様子は共有されているがマニュアルを使用しての説明は受けていない。





事業所内での分析

【共通点】

・活動スペースは十分とは言い難いが、安全に過ごせる様に工夫されている。
・昨年に続き児童への療育内容に関して、親御様とのニーズを加えてしっかり行えている。
・HP を通して日々の様子や活動を見て頂けている。
・職員と親御様との連絡を連絡帳や送迎時での申し送りなどを通して情報共有が取れている。

【相違点】

・非常時対応について避難訓練の活動を行っている認知はあるがマニュアルの周知が出来ていない。
・外出の機会が少ない。
・関連機関との連携を強くして行きたい。

分析・検討してみて…

事業所の強み

・職員と保護者との信頼関係は出来ている。
・活動スペースを上手く工夫している。
・プログラムが構築されており、曜日毎に療育やイベントを提供している。
・保護者様の困りごとや悩みに対して寄り添いコミュニケーションを密に取っている。
・日々の児童の様子や療育内容等を送迎時や HP のブログを通してお伝えしている。
・職員間でこまめに情報共有を行っている

事業所の改善点

・外出の機会を増やす。
・親御様への非常時対応マニュアルの周知。
・地域の関連機関と連携を図っていく。
・職員間の連携をより高めていく。

事業所の改善への取り組み

・外出の機会を増やす ⇒ 外出のレクリエーションの立案、計画

・親御様への非常時対応マニュアルの周知 ⇒ 非常時マニュアルを更新し保護者へ配布

・職員間の連携をより高めていく ⇒ 朝礼、昼礼、終礼の内容を見直し改善

・地域の関連機関と連携　⇒ 地域の協議会や交流会へ参加し、定期的に連絡、連携を図る

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所内だけではなく、保護者の方からのお声をいただき、職員内でも必要なことを話し合う機会となりました。今回出た改善点を職員内で共有し、実際に改善していけるよう方法なども具体的に話し合い行動していきたいと思います。保護者の方からたくさんの暖かいお言葉もいただき、これからもご利用いただいている方へ寄り添い、支援を継続させていただきたいと思っております。

事業所名　ライズ児童デイサービス港南台キッズ

担当者　関泰幸